

# 中央区文化・国際交流振興協会だより



「十思小学校」(1989年) 小川幸治

● 特集 ●

## ブリヂストン美術館で知る近代美術

### ①ブリヂストン美術館とルノワール 学芸員 貝塚 健

■平成22年度の事業計画と予算

■中央区 ひと 粹・活き 小川 幸治

■中央区まるごとミュージアム



# ① ブリヂストン美術館 とルノワール

ブリヂストン美術館 学芸員

貝塚 健

ブリヂストン美術館の1階に、ティールーム「ジョルジュ」がある。テーブルの間隔を広くとりゆったりとした店内では、くつろぐ人たちが思い思いの方法で時を過ごしている。見たばかりの展示を静かに思い起こす人、壁面に飾られたフレスコ画に見入る人、窓の外を八重洲通りを行き交う人々に視線を向けている人。常連客も少なくない。このティールームの店名は、美術館コレクションを代表するピエール＝オーギュスト・ルノワールの作品、《すわるジョルジュ・シャルパンティエ嬢》からとられた。この絵はいつも、クリーム色の展示室に飾られている。

画面を見てみよう。大きすぎる大人の椅子に少女が足を組んで腰かけている。少々お行儀が悪いが、かえって幼い魅力を強め、また構図上、画面の下半分に健康的な動きを与えている。少女の視線は前を向いて、少女らしい好奇心の芽生えを伺わせる。柔らかくカールしたブロンドの髪が、揺れながら両肩にかかる。ドレスと靴下の青はモデルの白く柔らかな肌を際立たせ、また、椅子の縁飾りや背景のチェストに見える黄色と巧みに呼応している。オレンジ色の瑪瑙のネックレスがアクセントになり、衿飾りと同心円のように重なって、見るものの視線を少女の顔に誘う。豪華な絨毯の文様がくどくならない程度に描かれ、この部屋の暖かい雰囲気づくりに役立っている。

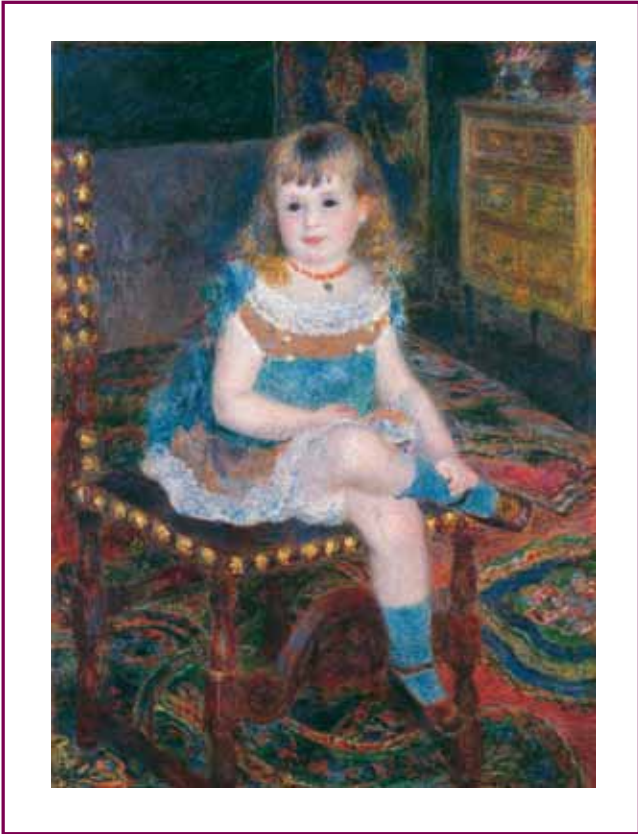
この作品は、1877年4月にパリで開かれた第3回印象派展に、《ムーラン・ド・ラ・ギャレット》(オルセー美術館蔵)などとともに出品された。モネ、ピサロ、シスレー、ドガ、セザンヌたちによって、1874年に第1回展が開かれてから4年目のことである。1870年代半ばは、印象派の画家たちが、もっとも印象派らしい、当時としては挑戦的な作品を生み出していた時期だった。この絵にもその特徴がよくあらわれている。従来のアカデミズム絵画のように最後の仕上げをすることなく、筆触がそのままに残され、生き生きとした画面を作りあげている。絵具は、パレットの上で混ぜ合わされることなくキャンヴァスにそのまま移されている。ジョルジュの手足の肌を子細に見ると、白や赤、青、黄色といった様々な原色が細かくちりばめ

られているのが分かる。いわゆる筆触分割と呼ばれる技法だ。トーンを落とした背景の中から、ジョルジュの姿が明るく浮かび上がるのは、混色しない絵具の強い発色によるものである。

よく知られるように、その誕生のとき印象派は社会に受け入れられなかった。「アンプレッショニスト(印象派画家たち)」のほかに、「アントランシジャン(非妥協派)」という呼び名もあったほどである。主な批判は次の3つ。まず、画面が明るすぎること、ついで、「仕上げ」がなされていないこと、そして、とりあげる題材がとるにたらないものであることである。19世紀当時の絵画観では、だれでもが知る神話や聖書の偉大な物語から主題をとり、最後は入念な仕上げをして筆あとを画面に残さないのが当たり前だった。それを否定するかのような印象派たちの描きっぷりは、ヨーロッパ絵画の伝統への反逆者ともみなされたのである。

多くの同時代人が受け入れなかった印象派の一人ルノワールによって、なぜ、どのようにしてこの作品が描かれることになったのだろうか。順を追って見てみよう。1875年3月24日、ルノワール、モネ、シスレー、ベルト・モリゾの4人はオテル・ドゥルオで自分たちの作品の売り立てを行った。結果は芳しいものではなかったという。このとき出品したルノワール20点のうち売れたのはたった3点だけ、買った人物はジョルジュ・シャルパンティエという出版業者だった。29歳のシャルパンティエは、今日の私たちの目から見れば、炯眼だったとしか言いようがない。気鋭の実業家は、普仏戦争での敗北とパリ・コミュンの混乱を切り抜けたフランスにふさわしい新しい絵画の誕生を敏感に感じとり、作品を購入するという形でその新しい絵画への賛意を表明したのだった。彼の出版社はゾラやモーパッサン、ゴンクール、フローベールを後押しし、妻マルグリットは、しばしば夜会を催して彼ら文化人、政治家、女優たちと交流、慈善活動にも熱心に取り組む社交界の花形だった。

翌76年、ジョルジュは長女ジョルジュの肖像画をルノワールに発注した。ジョルジュ宛のルノワール



ピエール＝オーギュスト・ルノワール

《すわるジョルジュ・シャルパンティエ嬢》1876年

ルの手紙が残されている。「明火曜日の2時に参上し、貴兄のお嬢様の肖像画を始めたいと存じます。月曜日、サン・ジョルジュ街、35番地、ルノワール」。残念ながら日付は分からない。短い文言の中に、ルノワールの慎ましい決意と自信がにじんでいる。ジョルジュの誕生日が、戸籍を調べた研究者によって判明している。1872年7月30日だから、この絵が描かれたとき、少女は4歳だった。

ルノワールにとっては大きな僥倖だった。なによりもジョルジュとマルグリットを満足させなければならない。それに成功すれば、その先により大きな成功が続くことが見えていたからだ。新鮮な描法の中にも考え抜かれた端正な構図がこの肖像画に見て取れることも、ルノワールの熱意のあらわれだろう。心なしか、テストを受けるときのような緊張感も感じられる。テストの結果はすぐに出た。引き続いてジョルジュは、マルグリットの肖像を発注したのである。最終的には合計7点の肖像画を、夫妻はルノワールに描かせることになった。中でも1878年の《シャルパンティエ夫人とその子どもたち》(メトロポリタン美術館蔵)はよく知られている。居間でくつろぐマルグリットと6歳になったジョルジュ、弟ポールを描いたもの。ルノワールはこの作品を印象派展ではなくサロン(官

展)に出品し、好評を博した。肖像画家としての名声を勝ち得たきっかけになったのである。シャルパンティエ家の夜会でルノワールは多くの富豪と知り合うことができ、次々に肖像画の注文を受けるようになっていった。晩年、赤を基調にした裸婦像を盛んに描いた時期もあったが、30歳代、40歳代のルノワールはなによりも肖像画家として社会的な評価が高かったのである。

ブリヂストン美術館のジョルジュ像に戻ろう。画面の中の少女は幸せそうな表情をしている。しかし、じっとポーズをとっていたときの4歳の彼女が楽しかったはずはない。古今東西の画家たちが、幼児をモデルに描くことの苦勞を書き残しているが、なかなか辛抱できない子どもたちにポーズをとらせるのは至難である。間違いなくジョルジュもいやいやモデルをさせられていた。一瞬垣間見せただけの表情を巧みにとらえたルノワールが、見事だったということもできる。では、出来上がった作品に対して彼女はどのように接しただろうか。

この絵が描かれた12年後、ジョルジュは16歳で初めての結婚をする。式当日、「キャンディーをおなかいっぱい食べたい」と言ったと伝えられる彼女は、少々子どもっぽい性格だったのかもしれない。4年後には離婚。翌年すぐに再婚し一子を得たが、まもなくまたも離婚。1905年に実業家との三度目の結婚でようやく安定した生活を得た。その間、両親から送られたこの肖像画をつねに持参し、1945年にパリで73年の生涯を閉じるまで、ジョルジュはともに生きた。はなやかなルイ15世様式の額縁に入れられたこの作品を、おそらく自宅に飾って毎日眺めていたのだろう。聡明で優しい両親に愛された幼時の記憶と強く結びついてきたことだろう。

ジョルジュの死後、この作品は遺族が手放し、1987年、縁あってブリヂストン美術館の所蔵となった。かつてはシャルパンティエ家の夜会のゲストしか見ることのできなかつた作品は、今では多くの来館者の目を楽しませている。

#### ブリヂストン美術館

1952年、株式会社ブリヂストンの創業者・石橋正二郎の個人コレクションを公開するために開館。印象派と20世紀美術を中心とする近・現代美術と日本近代洋画を収蔵。

7月25日まで「印象派はお好きですか？」展を開催中。

7月31日～10月17日、「ヘンリー・ムーア生命のかたち」を開催。

■住所：〒104-0031 中央区京橋1-10-1

■電話：03-5777-8600 (ハローダイヤル)

■開館時間 ※入館は開館の30分前まで

火曜日～土曜日 10:00～20:00 (日曜日、祝日は18:00まで)

■休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)、展示替え期間、年末年始



平成 22 年度の事業計画と予算の概要をお知らせします。  
事業内容の詳細が決定していない事業については、決まり次第協会のホームページや区のお知らせに掲載いたします。

## 平成 22 年度事業計画

### 文化振興事業

#### 1 機関誌発行・ホームページの更新

「中央区文化・国際交流振興協会だより」を発行するとともに、ホームページを更新し、協会の事業紹介や最新のイベント情報をお知らせします。

##### 情報誌

部 数：5,500部 A4版

発行回数：年2回発行（7月－53号 12月－54号）

##### ホームページ

U R L：http://www.chuo-ci.jp/

#### 2 芸術・文化の普及

(1) **コンサート** ～区民に親しみやすい音楽鑑賞の機会を提供します～

日 時：平成 22 年 10 月 8 日（金）午後 6 時 40 分開演

場 所：日本橋公会堂「日本橋劇場」

内 容：雪村いづみ ～歌は私の恋人！～

参加費：1,500 円

定 員：440 名

詳 細：追ってお知らせします。



平成 21 年度コンサート

##### (2) 文化講座

中央区に関係のある各種文化、歴史等について、専門家の講話を聞きその理解を深める機会です。2 回連続の講座を 2 つのコースに分けて開催します。

日 時：第 1 部 平成 22 年 9 月 21 日、28 日（火）

午後 6 時 30 分～8 時

第 2 部 平成 22 年 10 月 2 日、16 日（土）

午後 2 時～3 時 30 分

場 所：築地社会教育会館 2 階 講習室

内 容：第 1 部 体験ワークショップ「古典芸能の楽しみ」

：第 2 部 親子で楽しむワークショップ「古典

芸能ってなあに？」

講 師：中央区古典芸能の会 会員等

定 員：各コース 80 名



21 年度文化講座

(3) **特別文化講演会** ～各展覧会にあわせ、NHK との共催で開催（年 3 回程度）します～ なお、講演会参加者には展覧会の招待券を、お一人様一枚差し上げます。

日 時：未定

場 所：社会教育会館ホール 等

定 員：100～200 名

(4) **古典芸能鑑賞会** ～中央区に深い関わりをもつ舞踊、浄瑠璃などの古典芸能を鑑賞する機会です～中央区を中心に活躍されている古典芸能実演家を構成員とする「中央区古典芸能の会」に企画・制作をお願いしています。

日 時：平成 22 年 6 月 19 日（土）午後 5 時開演

場 所：日本橋公会堂「日本橋劇場」

内 容：講話、小唄振り、琵琶、曲芸、舞踊・常磐津

参加費：2,000 円

定 員：440 名



平成 22 年度古典芸能鑑賞会

##### (5) 文化推進事業助成

協会の目的とする事業を推進するため、区民が主体となっていく文化振興事業の後援及び事業実施に要する経費の一部を助成します。

助成件数：15 件

助成金額：事業に要する経費の 1/2 で 10 万円が限度

##### (6) 中央区まるごとミュージアムの開催

区民や区外参加者の方々が区内をバスや船で回遊しながら、民間の文化事業を含む区内のさまざまな文化的な魅力を楽しみ享受できる文化イベント（第 3 回）を中央区との共催で開催します。

開催日：平成 22 年 10 月 31 日（日）

詳細：8頁参照

**(7) 文化振興プロデュースチーム**

「中央区文化振興プラン」の提言を受け、区民（企業、NPO等を含む）の自主的な文化活動の推進・拡大を図るため、平成20年度に文化の専門家からなるプロデュースチームを設置しました。今後も、具体的な文化事業の企画・立案、文化ボランティアの育成等について検討を進めます。

構成員：6名

**国際交流振興事業**

**(1) 国際交流のつどい**

このイベントは、中央区の日本人と外国人との文化交流の促進と相互理解を深めるため、年に1度開催しています。

日時：平成22年11月27日（土）正午～午後4時

場所：築地社会教育会館

**INTERNATIONAL EXCHANGE PARTY**

This event is to be held once a year to promote cultural exchange as well as deepen mutual understanding between Japanese and foreign residents in Chuo city.

**Date & Time:** Sat, November 27, 2010 12:00~16:00

**Place:** Tsukiji Social Education Center

**Fee:** Free



平成21年度国際交流のつどい

**(2) ボランティア活動支援**

協会登録ボランティアの活動を支援するため、講習会の開催や連絡会議などを開催します。

・ボランティアの種類（①、②は原則としてそれぞれの事業で対応）

- ①日本語ボランティア
- ②国際交流サロンボランティア
- ③通訳・翻訳ボランティア
- ④イベントスタッフボランティア
- ⑤防災語学ボランティア
- ⑥ホームステイ・ホームビジットボランティア

講習会：年2回

**(3) 姉妹都市親善写真展**

姉妹都市であるオーストラリア・サザランド市との交

流・親善を一層深めるため、お互いの生活や風景、行事等を紹介する写真を相互に交換し、親善写真展を開催します。

日時：平成23年2月予定

場所：3箇所で開催（区役所1階ロビー、日本橋特別出張所1階ロビー、月島特別出張所1階コミュニティフロア）

**(4) 日本語教室**

日本語でコミュニケーションをとることが困難な区内在住・在勤の外国人を支援するため、日本語教室を開設しています。また、教室参加希望者の増加や多様化する要望に対応するため、ボランティア主催による教室の支援も行っています。

[協会主催の日本語教室]

教室	水曜日教室	木曜日教室	土曜日教室
日時	第1、第2、第3水曜日	第1、第2、第3木曜日	第2、第3、第4土曜日
時間	午後6時30分～8時	午前10時～11時45分	午前10時～12時
場所	女性センター（ブーケ21）	協会講習室	協会講習室

[協会が支援する日本語教室]

教室	日本語おたすけたい	つきしまにほんごクラブ	にほんご生活
日時	月曜日(月3回)	毎週火曜日	毎週土曜日
時間	午後7時～8時30分	午前10時～12時	午後2時～3時30分
場所	日本橋社会教育会館	月島社会教育会館	新富区民館または協会講習室

**JAPANESE LANGUAGE CLASSES**

Chuo Cultural and International Exchange Association (CCIEA) offers Japanese Language classes by volunteer teachers. Besides, we sponsor the classes which are hosted by volunteers in order to meet various demands of increasing students.



日本語教室

I Japanese Classes that we host:

Class	Wednesday Class	Thursday Class	Saturday Class
Schedule	Every 1st, 2nd & 3rd Wednesday	Every 1st, 2nd & 3rd Thursday	Every 2nd, 3rd & 4th Saturday
Time	18:30~20:00	10:00~11:45	10:00~12:00
Place	Chuo-ku Women's Center "Bouquet 21", 4th fl. Work room, (1-1-1 Minato, Chuo-ku, Tokyo)	CCIEA Office 3rd fl. Lecture Room, (1-13-24 Shintomi, Chuo-ku, Tokyo)	CCIEA Office 3rd fl. Lecture Room, (1-13-24 Shintomi, Chuo-ku, Tokyo)
Fee	Fee About ¥2,500 (no fee for the lesson, only for the textbook)		

II Other Japanese Classes that we sponsor:

Class	Nihongo Otasuketai	Tsukishima Nihongo Club	Nihongo Seikatsu
Schedule	Monday (3 times per month)	Every Tuesday	Every Saturday
Time	19:00~20:30	10:00~12:00	14:00~15:30
Place	Nihonbashi Social Education Center, (Nihonbashi Elementary School Complex Facility 7th-9th fl., 1-1-17 Nihonbashi-ningyocho Chuo-ku, Tokyo)	Tsukishima Social Education Center, (Tsukishima Community Center 4th and 5th fl., 4-1-1 Tsukishima, Chuo-ku, Tokyo)	Shintomi Community Hall or CCIEA lecture room, (1-13-24 Shintomi, Chuo-ku, Tokyo)
Fee	Fees differ depending on the class.		

(5) 国際交流サロン

外国人と日本人が気軽に交流が出来る場を提供します。ボランティアによる企画・運営により懇談、区内散策、料理教室、七夕、等を実施しています。

実施日：4月17日、5月22日、6月19日、7月10日、8月21日、10月16日、11月13日、12月18日、23年1月22日、2月19日、3月12日

場 所：協会講習室 等



平成 21 年 7 月七夕

INTERNATIONAL EXCHANGE SALON

In this salon, both Japanese and non-Japanese residents can enjoy free and open communication with each other. For the people who want to make a lot of friends and who want to enjoy conversation in Japanese and experience of Japanese culture, various events such as Tanabata, cooking, excursion, etc. are scheduled to take place. Why don't you come and join us?

**Date:** Apr. 17, May 22, Jun. 19, Jul. 10, Aug. 21, Oct. 16, Nov. 13, Dec. 18, Jan. 22, 2011, Feb. 19, 2011, and Mar. 12, 2011.

**Time:** Basically 13:30 p.m.~15:30p.m. (varies depending on the events)

**Place:** Lecture Room of CCIEA Office

**Fee:** Free

For more information, contact CCIEA.

(6) 外国客船歓迎式

東京港晴海埠頭に着岸する外国客船の入港時の歓迎行事に参加し、記念品の贈呈を行っています。

(7) 国際交流推進事業助成

協会の目的とする事業を推進するため、区民が主体となつて行う国際交流推進事業の後援及び事業の実施に要する経費の一部を助成します。

助成件数：4件

助成金額：事業に要する経費の1/2で10万円が限度

(8) 日本語指導者養成講座

区内在住・在勤の外国人に対し日本語を教えるボランティアを養成するために開催します。

日 時：7月29日、31日、8月5日、7日、19日、9月18日、22日 計7日間

水・木曜日は、午後6時45分～午後8時45分まで

土曜日は、午前10時～午後3時まで（途中休憩1時間）計20時間

場 所：協会講習室

講 師：明海大学外国語学部 講師 西川 寛之

定 員：35名

(9) 日本語フォローアップ講座

外国人に日本語を教えるボランティアの指導力を高めるため、フォローアップ講座及びステップアップ講座を開催します。

・フォローアップ講座

開催日：9月25日、30日、10月7日、28日、11月4日、11日、18日

・ステップアップ講座

開催日：6月26日、9月29日、10月16日、12月18日、1月26日、2月23日、3月12日

平成 22 年度 予算

<収入>

科 目	予算額 (円)	説 明
事業収入	1,204,000	コンサート、古典芸能鑑賞会参加費等
区補助金	89,912,000	区からの補助金
寄付金	1,000	
雑入	30,000	預金利子
収入合計	91,147,000	

<支出>

科 目	予算額 (円)	説 明
事業費	49,963,000	
文化振興費	43,743,000	文化振興事業に要する経費
国際交流振興費	6,220,000	国際交流振興事業に要する経費
管理費	39,184,000	
人件費	34,900,000	職員の給与に関する経費
管理運営費	4,284,000	理事会、事務費等
予備費	2,000,000	
支出合計	91,147,000	



# 小川幸治さん

下町風景スケッチを囲んで  
思い出話に花が咲く  
皆の楽しそうな姿が嬉しいです

東京下町記録スケッチ画家

東京の古き良き街並を描き続けて35年。中央区湊（旧・湊町）に生まれ育ち、現在は台東区にアトリエを構えて創作活動中の下町スケッチ画家・小川幸治さんにお話を伺いました。



と気がつきました。思えば、明石町から築地の一帯はかつて外国人居留地だったこともある場所。昔からモダンでハイカラな地域でした。うちの近所にも文化人が多く住んでいて、幼い頃は、写真家の土門拳がお弟子さん

とタクシーに乗り込む姿もよく見かけました。親父は日本橋の生まれですし、僕は湊町生まれ。こういう面白い街に生んでもらったのは幸運ですね。

今後の活動のご予定を教えてください？

小川 この夏には丸善丸の内本店でグループ展の予定があります。はじめは人に見せることなど考えずにただ記録しようと描きはじめて「東京下町記録スケッチ」ですが、画廊や百貨店などで展覧会を開くと、絵をきっかけに皆さんの思い出話がはじまるんです。街を離れてしまった人たちも、懐かしがって展覧会に遊びに来てくれることもあります。そんな姿を見ると、とても嬉しくなります。

以前から、街角のほかに街道沿いの風景も描いているのですが、最近は大山街道、日光街道を描いています。描き残すべき風景は尽きませぬね。

街並のスケッチをはじめたきっかけは？

小川 生家の土台が老朽化し建て直すことになり、その姿を記録しておこうと描いたのがはじまりです。僕が28歳の頃のことです。それから、古いものは何でも描いています。ちょうど高度経済成長の波とともに、街並がどんどん変化していった時代でしたし、描き残しておきたかったんです。名所は、誰かが記録してくれるので、僕は街角の商店や知り合いの家など、日常の風景を描きます。これまでに3,000枚以上はスケッチしました。

数多くの街を描いてきた小川さんが改めて感じる、中央区の魅力は何ですか？

小川 僕はここが地元だから、全国みんなこんな街並なのかと思っていた（笑）。でも、仲間から「小川のまわりは面白いじゃないか」って言われて、「そうか、確かに面白い」



筆と墨を使い和紙に描くのが現在の小川さんのスタイル。長くても1時間ほどで1つの作品を描き上げてしまうそうだ。

## ●プロフィール

1948年、東京都中央区湊生まれ。東京芸術大学日本画科、同大学院を修了。郷土史を学びながら、1978年より「東京下町記録スケッチ」を始め、以後、50回以上の個展を開催。タウン誌『日本橋』をはじめ、メディアでの連載も多数。女子美術大学などで講師も務める。日本美術家連盟会員



母校だった旧・中央区立文海中学校の跡地に建てられた「リハポート明石」の1Fロビーには、小川さんのスケッチ作品を集めた5枚の大きな壁画『下町生活陶版壁画』が展示されている。



中央区のさまざまな文化的な魅力を体験していただける、第3回目の「中央区まるごとミュージアム」を開催します。

本年も、名所・旧跡を巡るまち歩きや美術館・画廊での美術鑑賞、文化団体等による作品展など各種のイベントが行われますので、ぜひ、区民の皆様を始め大勢の方々に参加していただき、中央区の文化的な魅力をお楽しみください。

**日時** 平成22年10月31日(日)

概ね10:00~17:00

**主催** 中央区、中央区文化・国際交流振興協会

**会場** 中央区全域



朝潮運河



日本橋川



バス 晴海トリトン

### 昨年(第2回)の文化事業

- まち歩き(「晴海通り銀ブラ」「築地・明石町」「江戸一番の賑わい日本橋通り」「江戸湊と佃島」の4コース)
- 美術館鑑賞会(ブリヂストン美術館・三井記念美術館)
- アフタヌーン・ギャラリーズ by 画廊の夜会
- 銀座あおぞら DE アート
- 銀座シャンソンうた祭
- 銀座アンティークまつり
- 銀座スペース・デザイン・コンペティション受賞作品展
- 中央区民文化祭作品展
- バリアレス・ハートギャラリー
- つきじTASSぎやらりー若松屋ペーパークラフト展
- 日本橋美人博覧会
- 復活!木更津河岸
- 葉研堀講談の会
- 人力車体験
- 晴海インフィオラータ2009 in Triton
- 中央区味わい広場
- 中央区観光協会50周年記念事業フィナーレ
- 「大きな絵の展覧会ですなあ」どすえ
- 城米彦造展 昭和の中央区の街並を偲ぶ
- ヘブンアーティスト in まるごと
- コミュニティふれあい銭湯



●日本銀行「にちぎん体験2009 歴史散歩」



●まち歩き(初心者コース)



●美術館鑑賞会(三井記念美術館)



●郷土天文館特別展「匠の生きたまち」



●銀座将棋まつり



●TANROビーコンサート  
まるごとマリパコンサート

#### 表紙 十思小学校 小川幸治

十思小学校は昭和3年(1928)12月の建設で、曲線の美しい半円型の正門は、アーチ型の窓や円型の柱とあいまって優しさをおとずれる人たちに語りかける。  
開校は明治10年、この辺りは、江戸時代は伝馬町の牢屋敷の跡でもあり、資料室には黒い壁と黒い壁の大きな模型がある。作法室や床柱のある私室もある。モダンな中に、礼儀作法も伝授されていた。

特集はブリヂストン美術館で知る近代美術です。昨年度の文化講座は中央区京橋に位置するブリヂストン美術館の協力を得て開催しました。機関誌でも2回にわたり特集いたします。「ひと 粋・活き」では、表紙の絵を掲載させていただいている小川幸治氏にお話を聞きました。  
「中央区まるごとミュージアム2010」は第3回目になります、本年もたくさんの方々の参加をお待ちいたします。

#### 役員名簿(平成22年6月10日理事会 一部改選)

理事長	古屋 勝彦	東京商工会議所中央支部顧問
副理事長	高橋 邦夫	中央区副区長
理事	細田安兵衛	中央区観光協会副会長
〃	重盛 永造	中央区商店街連合会会長
〃	水野 雅生	中央区工業団体連合会会長
〃	高橋 英昭	東京日本橋東ロータリークラブ会長
〃	中條 洋平	東京銀座ライオンズクラブ元会長
〃	田中 久男	京橋地域町会連合会会長(改選)
〃	小堀 章三	日本橋地域町会連合会会長
〃	柴崎 仁久	月島地域町会連合会会長
〃	小畑 栄三	中央区文化連盟会長
〃	百瀬 修至	中央区体育協合理事長
〃	川口修一郎	中央区PTA連合会会長(改選)
〃	猪股 幸治	東京青年会議所中央区委員会委員長
〃	根本長兵衛	日仏メディア交流協会副会長
〃	高橋 春雄	中央区教育長
〃	斎藤 裕文	中央区企画部長(改選)
〃	齋藤 弘	中央区区民部長(改選)
監事	則武 久子	中央区女性海外研修者の会元会長
〃	西川 昭男	中央区会計管理者